

2 0 1 9 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人神奈川県歩け歩け協会

1. 事業の成果

2019年5月1日に元号が「令和」に変わりました。

平成の30年の時代に日本は人生100年、そして少子高齢化により人口の減少、認知症などの拡大の時代に急速に入りました。

そのような中で高齢化社会の全国的な進行により、高齢者の健康問題への関心と健康ウォーキングへの取り組みは増えていますが、その形態は個人的なグループや夫婦や親しい仲間の少人数による趣味的なものが多くなってきていると思われます。

また70歳まで働くことの強要と年金では生活できない状況の中で、定年の延長や趣味の多様化により歩け団体のスタッフとして活動しようとする人は少なくなっており、歩け団体の役員の高齢化によるリタイヤも含めると役員不足による歩けの会の運営と維持がなかなか困難になってきている傾向が全国的にあります。

そのような傾向の中で、私たちの提唱する「美しく正しく楽しく歩く」という科学的な理論と実技をもった健康ウォーキングの活動は、ますます重要なものになってきていると言えます。

2019年度はそのような時代の流れにおいて、神奈川県歩け歩け協会として大きな変革を求められた年でもありました。

その一つは、横浜市民活動センターが2020年3月31日に閉鎖され、その代替施設もなく、これまで会報の印刷でこのリソグラフ印刷機を利用していたものが出来なくなるという事態に追い込まれました。

そのため印刷を外注する検討に入ると共に、これまで22,000部印刷し無料で県内各施設に配布していた体制を改め、配布先の各施設に会報の利用状況と配布希望部数の調査を行いました。

その結果配布部数を12,000部に削減することになりました。

ただ、この体制も新型コロナウイルスの影響で歩け企画が実施出来なくなり、その結果として歩け参加者等の参加費が大幅に減少し会報印刷配布の費用が賄うことが出来なくなり再検討を余儀なくされました。

次に、2019年の大きなイベントとして東京2020オリンピックに向けて東京都ウォーキング協会と共催で「東京2020競技会場巡り」のシリーズに取り組んだことがあります。これまで神奈川県歩け歩け協会は神奈川県内外を中心に単独で独自に歩け企画の実施を展開してきましたが、多摩川を挟んで東京都ウォーキング協会と東京2020オリンピックをテーマとして相互に東京と神奈川の競技会場を巡る企画を2018年から東京都ウォーキング協会と打ち合わせを重ね2019年11月9日(土)日産スタジアムコースから開始し、12月22日(日)台場コース、2020年1月11日(土)横浜スタジアムコース、2月9日(日)味の素スタジアムコースと順調に神奈川と東京を相互に会場として多くの歩け仲間の参加で盛り上がっていきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響から3月14日(土)江ノ島コース、4月12日(日)新国立

競技場コースが中止を余儀なくされ、その継続について今後の課題として残りました。

東京と神奈川を相互に歩く企画は大変意義のあるものであり神奈川にとっても今後の歩け企画と運営に大きな良い影響を与えるものと考えています。そのためこの歩け企画の完遂を目指して東京都ウォーキング協会と今後打ち合わせしていきたいと思えます。

三点目は新型コロナウイルスの感染防止の影響で2020年3月から4月、5月、6月、7月と全ての歩け企画を中止せざるを得なかったことがあります。

12月の中国武漢から始まった新型コロナウイルスのまん延は瞬く間に全世界に広がり日本でもその影響を受けて外出自粛、さらには緊急事態宣言が発生される深刻な事態になりました。そのため歩け参加者と運営スタッフの安全を守るため歩け企画の全面的な中止と外出の自粛を呼び掛けることになりました。

この間歩けの仲間は身近な自宅周辺の散歩等の健康管理に努めることとなりました。

しかし、なかなか自粛要請が解除されず長期にわたる歩け企画の中止を余儀なくされ、会の運営の費用としての参加費を集めることが出来ず今後の会の運営に大きな今後影響を与えることになるかと心配されます。

4点目は月例の歩け企画及び大会などへの参加者数やそれぞれの団体及び県登録会員が減少する傾向があることです。

高齢化社会の到来の中で健康に関する関心が高まりウォーキング愛好家は大きく増加していますが、それらの方々の多くが自分たちの小さなグループによる歩けを好む傾向が強くなり、私たちがのように参加費を払い集団で歩く方法は好まれないのかもしれないかもしれません。このような傾向の中で私たちの歩けスタイルを確立して多くの参加者を集める工夫を行う必要があります。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 歩け歩け運動の普及・奨励に関する事業

- ・内容 会報発行
- ・日時 毎月第2木曜日 会報毎月11,000部
- ・場所 かながわ県民活動サポートセンター
- ・従事者人員 会報印刷発送 毎月50人
- ・対象者 会報配布先 400ヶ所
- ・支出額 1,489,047円

② 歩けの大会等の開催に関する事業

- ・内容 月例会、大会等
- ・日時 毎月40回以上 年間534回
- ・場所 県内一円及び県外
- ・従事者人員 スタッフ 5,600名
- ・対象者 会員及び一般県民 年間49,592人
- ・支出額 1,788,333

③ 歩け歩け運動に関する指導者の養成研修に関する事業

- ・ 内容 2級かもめ健康ウォーキング指導者養成講座
- ・ 日時 年間8回
- ・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター他県内会議室
- ・ 従事者人員 45名
- ・ 対象者 60人
- ・ 支出額 50,000円

④ 歩け歩け運動を推進する歩け団体の未組織市区町村の解消とその育成・指導強化活動に関する事業

- ・ 2019年度は対象事業なし

⑤ 歩け歩け運動に関する調査・研究・啓発・宣伝・研修活動に関する事業

- ・ 内容 組織強化委員会の開催
- ・ 日時 毎月1回
- ・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター
- ・ 従事者人員 13名
- ・ 対象者 120人
- ・ 支出額 130,000円

⑥ 歩け歩け運動に関する関係諸団体との連絡・調整・協力に関する事業

- ・ 内容 理事会3回 総会1回開催
- ・ 日時 理事会 5月 10月 3月 総会 7月
- ・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター会議室
- ・ 従事者人員 理事・監事 16名
- ・ 対象者 理事会 理事・監事16名 総会 正会員・登録会員 757名 団体17名
- ・ 支出額 300,000円